



◆12月の三者懇談会に向けて

期末テストが終わり、二学期の評定が決まります。また、先日の三者懇談会や進路希望調査を踏まえて一人ひとりの進路について、三年生の先生で会議をしました。

そして、二者懇談を予定より早めて始めます。この二者懇談では、2学期の評定を提示して、三重県立前期選抜、愛知県立佐屋高等学校の推薦選抜、私学、高専など受験校（推薦・一般）について三者懇談会で決定できるように話をしていきます。

提示する評定は、中学校から高校へ提出する調査書（内申書）に記載するもので、いよいよ具体的に進路を決定していきます。

これからは今まで以上にいろいろな期日があります。「期日を守れなかったら…」は考えません。進路の手続きに関わることなので、余裕を持った早めの行動を意識してください。

◆書類の作成について（下書き用紙は進路ワークスペースに置いてあります）

再度掲載しますが、受験を決めているのであれば、今のうちから書類の完成に向けて、下書きを始めてください。下書きが完成したら清書をしていきます。

学校推薦を希望する人は「推薦志願理由書」を三者懇談会で提出してください。三者懇談会での提出が難しい人は、遅くとも12月4日（木）午前までに提出してください。

三重県立前期選抜を受検する人は「(様式17) 自己推薦書」を作成してください。12月12日（金）には下書きを完成させて、清書は12月18日（木）までに提出してください。中学校から高校へ提出します。

津田学園を自己推薦で受験する人は「自己推薦書」を作成してください。12月12日（金）には下書きを完成させて、清書は12月18日（木）までに提出してください。中学校から高校へ提出します。（津田学園について、改訂されたインターネット出願マニュアルがホームページに掲載されています。）

◆12月の三者懇談会について

12月の三者懇談会では、三重県立後期選抜と佐屋高校一般選抜を除いてすべての受験校を決定します。受験校については、学校だけでなく、科やコースなども決める必要があります。各教室での三者懇談会終了後、少人数教室（旧3B教室）へ移動し書類を受け取ってください。Web出願は、自宅を進めてもらいます。インターネットの環境がない場合は申し出てください。

不安もあるでしょうし、迷う気持ちがあるかも知れません。しかし、いつまでも迷っていると肝心の勉強が集中できないと思います。いよいよ、ここからは決心して実際に動いていかなければなりません。自分が卒業後に行く学校ですので、「誰かに言われたから」や「何となく」ではなく、自分で責任を持って決定してください。

週明けに進路だよりを配付し、三者懇談会当日や懇談会後のながれを詳しく説明します。

◆面接・作文の練習

配付した「面接・作文完全攻略」を使って12月から面接の練習をします。面接を受ける予定がない人も将来はどこかで面接を受けることになると思いますので全員で取り組みます。

作文の練習については、全員では取り組みません。作文で受ける予定がある人は、自分の伝えたいことを決められた時間に決められた文字数で書けるように、自分で時間を作って取り組んでください。また、思っていることが文章で伝えられているかなど、先生に確認してもらいながら練習を進めてください。原稿用紙は進路ワークスペースに置いてあります。

「面接・作文完全攻略」を読むときは志望校だけではなく、他の学校も読んでみてください。共通していることがあれば、それはどこの学校でも求められているということです。他の学校と違う内容があれば、それが学校の特徴だと分かってくるとと思います。

意識してほしいのは「中学校で何を頑張ってきたか」「進路先で何がしたいか」「将来何がしたいか」の3つです。「勉強と部活の両立を頑張ります」は誰でも言える言葉です。何の勉強か何の部活か、どのように頑張るのかを具体的に言えるようになると「あなたがどのような人か、どのような思いを持っているのか」が相手に伝わると思います。

面接や作文の練習ばかりにならないよう、毎日の学習の中で時間を見つけて取り組むようにしましょう。

◆勉強をする…具体的にどうしますか？

自分に合った勉強方法は見つかっていますか？ 困ったことがあれば先生と相談して、無理なく続けられる取組をしていきましょう。例えば…

- ・朝学習の冊子を使って「単元別」に復習する。
- ・持っているワークを何度も繰り返して取り組む。
- ・過去の問題（マークシートで答える学校もあります）など「テスト形式の問題」を、時間を計って解き、間違えた所を復習する。
- ・夜遅くまでするのはなく、入試が行われる時間帯に合わせて休日も取り組む。など

◆引き続き体調管理を

食事、睡眠、体を冷やさない、湿度を保つなどを意識して規則正しい生活を心掛けましょう。特に入試が近づく年明けからは、家族が体調を崩したときでも元気でいなければならないので、家族とも健康について話し合ってください。

決断することや入試が迫ってくると不安な気持ちやイライラすることがあるかもしれませんが。不安になることは否定しませんが、そのことが自分勝手な行動につながりトラブルになるということは避けたいです。しんどいときに自分の思いを誰か伝えられると楽になるときがあります。逆に誰かの思いを聞くことによって何かが見えてくるときもあります。年が明けてからは進路のことや卒業に向けての取組ですぐに3月がやってきます。残りの貴重な毎日がお互いの気持ちをより知ることができる有意義な時間になればいいなと思っています。